

神崎市地域経済動向調査(1月号)

■全国の景況

◇月例経済報告(R2.12月号より)

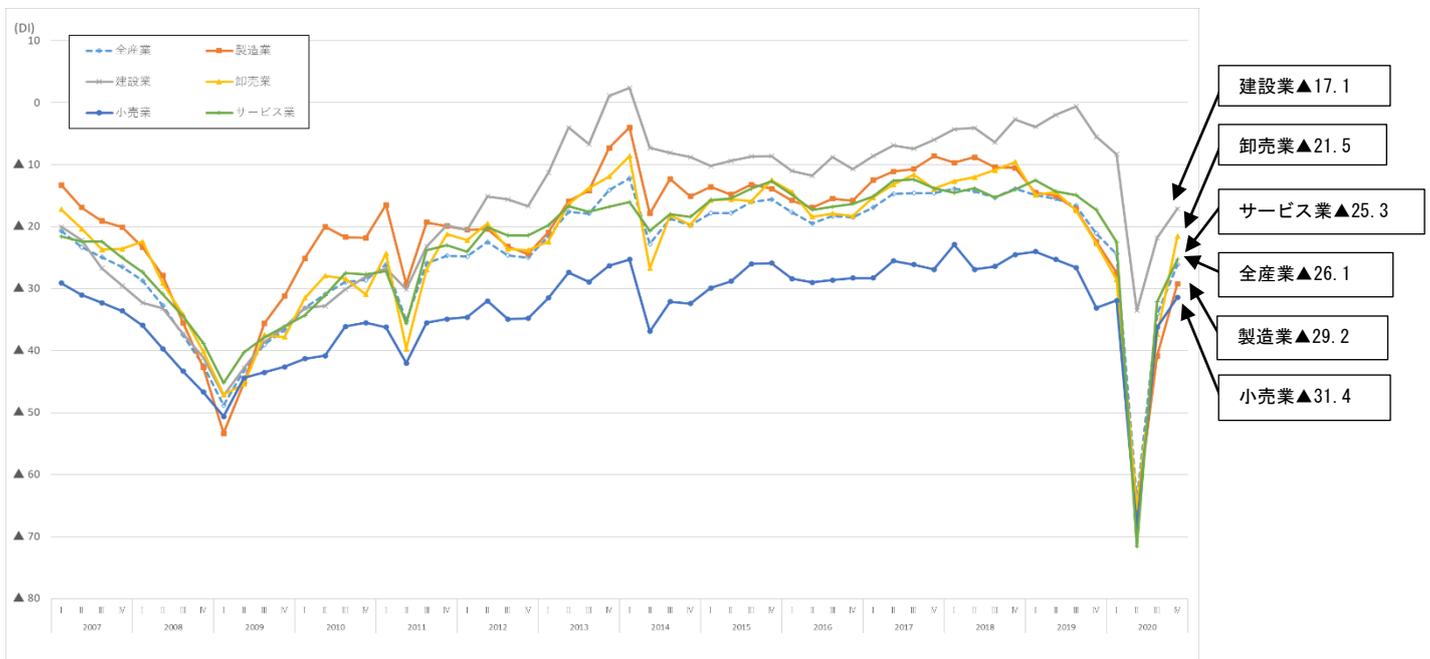
『景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる』

- ・個人消費は、一部に足踏みもみられるが、感じてみれば持ち直している。
- ・設備投資は、このところ減少している。
- ・輸出は、増加している。
- ・生産は、持ち直している。
- ・企業収益は、感染症の影響により、大幅な減少が続いているものの、総じてその幅には縮小がみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている中で、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

◇中小企業景況調査(2020年10~12月期より)

『中小企業の業況判断DIは、2期連続で上昇した』

<中小企業の業況判断(2020年10~12月期)>



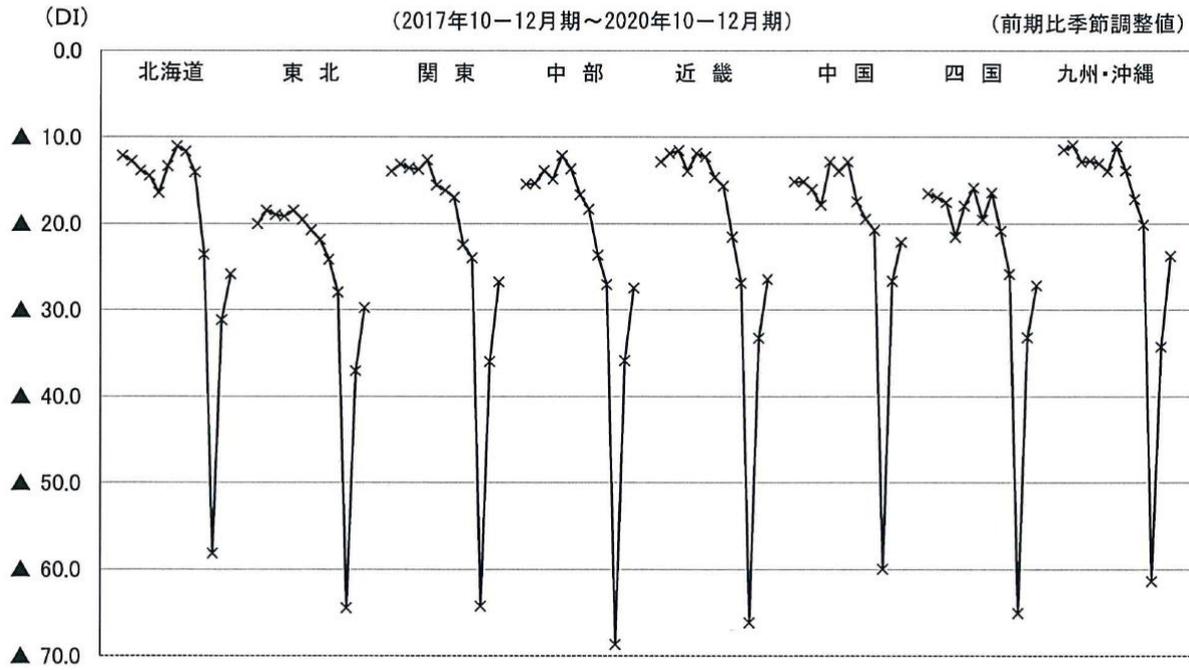
- ・2020年10~12月期の全産業業況判断DI値は、▲26.1(前期より8.0ポイント増)となり、2期連続で上昇した。
- ・業種毎には、全業種でポイント増加となっている。ポイント増加幅が大きいのは卸売業、製造業となっている。

<地域別業況判断(2020年10~12月期)>

中小企業の地域別業況判断DIの推移(全産業)

(2017年10-12月期~2020年10-12月期)

(前期比季節調整値)



(注)1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。

2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

- ・地域別の業況判断では、九州・沖縄をはじめ、全ての地域でマイナス幅が縮小した。

■佐賀県の景況

◇佐賀県内経済情勢報告 (R2.10 より)

『県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。』

- ・個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
- ・生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
- ・設備投資は、令和2年度は増加見込みとなっている。
- ・企業収益は、令和2年度は減益見込みとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。

◇佐賀県主要経済統計速報 (R2.11 より)

佐賀県主要経済統計速報 11月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。

佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(9月)は、全店販売額が4ヵ月振りに下回った。
乗用車新規登録台数(10月)は、12ヵ月連続で下回った。
新設住宅着工戸数(9月)は、4ヵ月連続で下回った。
公共工事前払保証請負金額(10月)は、2ヵ月連続で下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(9月)は、12ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(9月)は13ヵ月連続で下回った。
- ・企業倒産(10月)の件数は3件増で、金額は2ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(10月)は、9ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

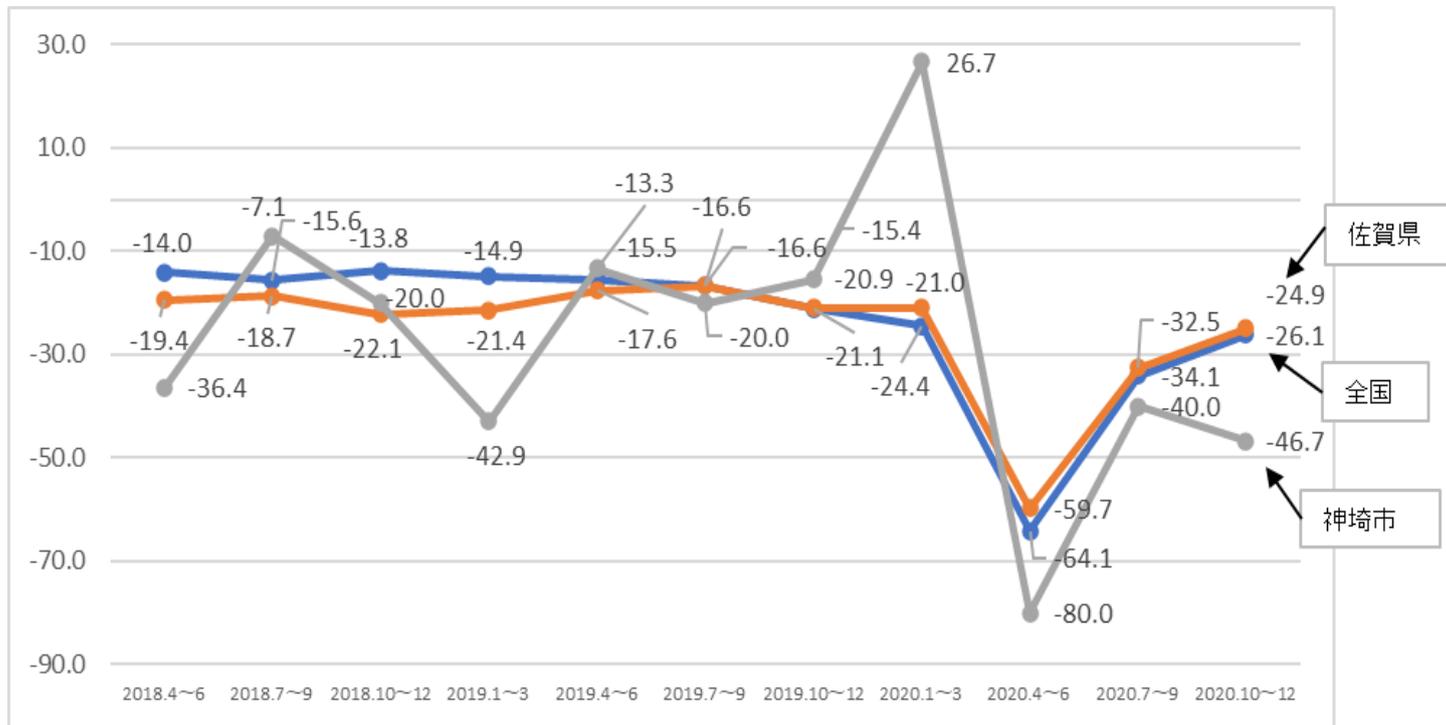
項 目		対象月	数 値	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分	
県内 需要	個人消費	9月	百貨店・スーパー販売額	48億00 百万円	△6.7%	△11.7%
			全店販売額 既存店販売額	—	△12.9%	—
	住宅建設	9月	乗用車 新規登録台数	2,344 台	△1.8%	△15.0%
			新設住宅 着工戸数	357 戸	△20.5%	△15.4%
公共工事	10月	公共工事前払 保証請負金額	87億4 百万円	△24.1%	△19.6%	
生産	鉱工業生産指数(注)		9月	88.8	△10.7%	△2.4%
雇用	所定外労働時間数指数 (事業所規模30人以上)		9月	84.9	△24.6%	—
	有効求人倍率・受理地別 (季節調整済)		9月	1.02 倍	△0.25	△0.02
	有効求人倍率・就業地別(〃)		9月	1.18 倍	△0.38	△0.01
企業 倒産	企業倒産 状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数(当月)	10月	7 件	3件	3件
		〃(累計)	38 件	11件	—	
	負債金額(当月)	10億76 百万円	8億62百万円	△4億42百万円		
	〃(累計)	56億63 百万円	39億95百万円	—		
物価	消費者物価指数(佐賀市)		9月	102.6	0.2%	△0.2%
金融	金融機関(銀行)の貸出残高		10月	1兆3,991 億円	5.9%	0.3%
人口	推計人口		11月	808,575 人	△5,461人	△246人
	推計世帯数			316,092 世帯	2,684世帯	187世帯
景気 動向 指数	先行指数		9月	70.0 %	—	—
	一致指数			42.9 %	—	—
	遅行指数			0.0 %	—	—

■神埼市の景況

『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

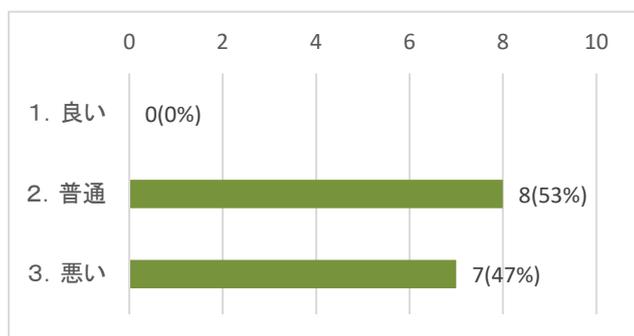
◇中小企業景況調査(2020年10~12月期より)

中小企業景況調査より、2018年4~6月期から2020年10月~12月の業況判断状況は以下のとおりである。

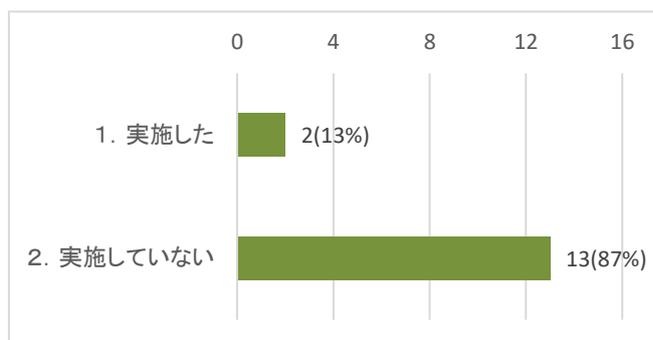


- ・2020年10~12月期の佐賀県の全産業の業況判断DIは、▲24.9(前期差7.6ポイント増)で、増加傾向となっている。
- ・全国DI値は▲26.1で佐賀県DI値より低い値となっている。
- ・神埼市は、15社分の集計結果であり参考値としてみていただきたいが、DIは▲46.7で、全国値、佐賀県値より低い値となっている。
- ・神埼市15社分の現在の景況感、設備投資状況は以下のとおりである。

<現在の景況感>



<設備投資 今季 2020年10月~12月>



<経営上の課題>

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	従業員の確保難	民間需要の停滞	官公需要の停滞
	神崎市商工会	人件費の増加	従業員の確保難	請負単価の低下・上昇難
製造業	全国	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化への対応
	神崎市商工会	需要の停滞	製品ニーズの変化への対応	原材料の不足
小売業	全国	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	大中小型店の進出による競争の激化
	神崎市商工会	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	購買力の他地域への流出
サービス業	全国	需要の停滞	利用者ニーズの変化への対応	その他
	神崎市商工会	従業員の確保難	需要の停滞	熟練技術者の確保難

- ・ 中小企業景況調査で、全国で約 8,000 件、神崎市商工会では 15 件が対象となっている。
- ・ 神崎市商工会地区でみると、建設業は「人件費の増加」、製造業、小売業は「需要の停滞」、サービス業は、「従業員の確保難」が最重要課題となっている。

◇保証月報 (佐賀県信用保証協会より)

神崎市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	2019.11				2020.11			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神崎市	7	79,100	337	2,407,745	12	225,000	532	7,622,238
佐賀県	206	2,247,170	9,764	74,384,266	370	5,336,600	13,786	193,755,634

- ・ 2020 年 11 月の神崎市内中小企業の保証承諾件数は 12 件、金額は 255,000 千円で、前年同月比より大きく増加している。新型コロナウイルス感染症により、借入が激増している。
- ・ 保証債務残高は、佐賀県全体、神崎市とも、件数、金額ベースとも大きく増加となっている。